

科目名		建築施工Ⅲ			
担当教員	木原 隆明		実務授業の有無	○	
対象学科	建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	80時間
授業概要、目的、授業の進め方	<p>建築の施工は、建築の技術者としての基本的な理論を理解する必要があることと、2級建築士の学科試験に合格する為の知識として、規定値を暗記する必要があるため、この2点に重点を置き講義をします。</p> <p>特に施工は経験工学と言われる程、実際の現場や作業の流れを視覚から理解をしないと難しい面があるので、施工写真や、図をプロジェクターで見せながら、そして建築材料の特性を理解させるため、実際の材料素材に手で触れてみて触覚で理解させる、また数値の暗記は語呂を声に出させて聴覚を刺激して記憶の定着を図ります。</p>				
学習目標（到達目標）	二級建築士学科試験の学科Ⅳ（建築施工）で合格基準（15点）以上に達することを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	2級建築士学科新体系テキスト施工、2級建築士学科新体系問題集施工（TAC）				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	工事契約約款	建築工事契約約款に書かれているルールの読み方を解説し、過去問が解ける為のテクニックを得る。			
2	施工計画・施工管理計画	設計図書、施工計画書の内容の解説と、ネットワーク工程表の各種日数計算が出来るようになる。			
3	仮設工事	足場関係の労働安全衛生法の規定値の解説と覚えるべきポイントを習得する。			
4	地盤調査・土工事・杭工事	地盤調査は何のための調査なのかを講義し、山留め工法、杭の各工法の特徴を覚える。			
5	鉄筋工事	鉄筋工事の各種の規定値について習得する。			
6	型枠工事	コンクリートの性質と関連させて、型枠工事の規定値をポイントを絞って、覚える。			
7	コンクリート工事	実際に少量の生コンを自分の手で練って見て、配合の規定値の意味を体で感じてもらう。			
8	鉄骨工事	鉄骨の製作から、建て方までの作業の流れと覚えるべき規定値をポイントを絞って、覚える。			
9	ブロック・ALC工事	ブロック・ALC工事の各種の規定値をポイントを絞って、なぜその規定値があるのかを習得する。			
10	木工事	木工事の各種の規定値をポイントを絞って、なぜその規定値があるのかを確認する。			
11	防水工事・屋根工事	各種防水工法の特徴と、防水工事の規定値をなぜその規定値があるのかを確認する。			
12	左官工事	左官工事の各種の規定値をポイントを絞って、なぜその規定値があるのかを確認する。			
13	タイル・石工事	各種タイル張り工法の特徴と、タイル工事の規定値をなぜその規定値があるのかを確認する。			
14	塗装工事	各種塗装材料の特徴と、適用素地のマッチングに的を絞って、なぜそれがベストなのかを確認する。			
15	建具・ガラス・内装工事	建具・ガラス・内装工事の各種の規定値をポイントを絞って、なぜその規定値があるのかを確認する。			
16	改修工事	各種の改修工法の特徴と、規定値を覚える。			
17	設備工事	基本的な電気・空調・衛生設備の内容を広く、浅くなぜその規定値があるのかを確認する。			
18	積算見積・測量・施工機械器具	勘違いし易い、積算のルールを中心に、覚えるべきルール、規定値を確認する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
各テーマごとの小テスト、模擬試験(4回) 模擬試験90% 小テスト10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		1級、2級を問わず、年々難易度の増している建築士試験である。4ヶ月間しっかりと集中して授業に取り組み、かならず全員合格を勝ち取ってほしい。 予習・復習を欠かさず行うこと。			
実務経験教員の経歴	現場設計・施工管理業務経歴48年				